



川俣幼稚園用務員
齋藤 昭次さん

小さい頃、私も川俣幼稚園に通っていたので園の歴史が途絶えることは残念です。「おじちゃん、おじちゃん」と近寄ってきてくれる子どもたちと過ごした5年間はとても良い思い出です。子どもたちには「新しい環境に早く慣れてがんばってね」と伝えたいです。



川俣幼稚園の隣組
常松 繁さん マサ子さん夫妻

昔は何百人といた川俣幼稚園の子どもたちも年々少なくなっはいましたが、これからは毎朝聞こえていた子どもたちの声が聞こえなくなると思うと寂しいです。今回、子どもたちに素晴らしい色紙をいただき、良い思い出になりました。ありがとうございました。

ありがとうの気持ちをひとつ

3月に入り、園児は手づくりの感謝の色紙をお世話になった方々に渡し歩きました。みなさん、これからも彼らの成長をあたたく見守ってください。



川俣幼稚園 PTA 会長
池田 義寛さん

川俣幼稚園は地域のみなさんに支えられ長い歴史を刻んできました。私が幼稚園に携わっている間も多くの方にお世話になり感謝の言葉しかありません。川俣幼稚園園歌がここで途絶えることは残念ですが、子どもたちにはより良い環境でさらに成長してほしいです。

たくさんの思い重なる川俣幼稚園



川俣幼稚園保護者
高橋 千代子さん

休園と聞いた時はとても驚きました。施設の老朽化や少子化などを考えれば仕方ないと感じる反面、子どもたちが育ったこの場所がなくなると思うととても寂しいです。子どもには川俣幼稚園を卒業した誇りを胸に、小学校でも元気いっぱい過ごしてほしいです。



スクールバス運転手
藤原 康次さん

子どもたちを送迎して10年。年々、少子化を実感していましたが川俣幼稚園の名前が無くなることは残念です。園が変わっても子どもたちの送迎は続くので、これからも子どもたちのにぎやかな声を楽しみながら、安全を第一に送迎をしていきます。



川俣幼稚園特別支援児介助員
長谷川 実花さん

娘も通っていた川俣幼稚園の休園は、正直、寂しい気持ちでいっぱいです。私自身、初めての介助員という職で子どもたちに成長させてもらいながらここまで続けてこれました。子どもたちには、川俣幼稚園で過ごした時間をいつまでも忘れずに成長してほしいです。

いつかまた

みんな笑顔で

会いましょう。



写真は平成 29 年 4 月に川俣幼稚園全員のアイデアを詰め込み、みんなで作った未来ポストです。

未来ポストには 2025 年に向けた未来への手紙が入っています。

2025 年、みなさんはいくつになっていますか。

どんなに大きくなってもこの場所を忘れず、いつかまたみんな笑顔で会えますように…。

そんな願いを込めて。

ありがとう川俣幼稚園・おわり

